

経験豊かな教員の減少と若い教員の増加が進んでいる中、
校内OJTをどう進めていくか!

経験の浅い教員をどう育てていくかは、今の学校において非常に重要な課題になってきています。校内でOJTの機能をどう働かせていくかを考えていかなければなりません。参考例を紹介しますので、実情に応じて取組を進めてみてください。

【校内チーム制】 (進め方)

- ①校内チーム制の設定。
- ②実施期間の設定。
- ③校内の共通理解。
- ④OJTチーム研修の計画。
- ⑤OJTチーム研修の実践。

参考資料
『学び続ける教員のための
OJTガイドブック
「関わり合い」で創る
すてきな学校』より
平成28年2月
岡山県総合教育センター

【教員の育成・評価システム】

- 自己目標シートへのチームからのアドバイス。
- 教員全員の自己目標の共通理解。
- 自己評価Aが1つは付けられるように指導・助言、励まし、賞賛。

※『一步先へ』第3号も参考にしてください。

【校内研修・校内研究】

- 経験年数別研修を全校でバックアップ。
- 全校で支援する授業研究。
- 研修会等への意図的な参加と報告の指示。
- 一人1研修等の工夫。(講座講師)
- 先輩教員の授業を参観できる体制づくり。

【その他】

- 「報告・連絡・相談」の徹底。
- 管理職による定期的な面談や声掛け。
- 管理職の1日1回の巡回や授業参観。
- 体調管理。(教頭や養護教諭との連携)
- 職員レクリエーション等の定期的開催。